

自転車利用者に対する情報提供のあり方に関する調査

松澤 祐子

調査部

1 はじめに

自転車は、買い物や通勤等、日常生活における身近な移動手段として活用されており、その保有台数も年々増加しています。一方で、スポーツ車や電動アシスト付き自転車等の販売台数が増加するなど、自転車の種類が多様化してきており、それぞれのニーズに合わせた自転車駐車場の整備が必要であるとともに、多様化した自転車に対応するための情報提供が重要になってきています。例えば、自動車の運転手に対しては、カーナビ等から駐車場の位置やその満空情報、渋滞情報、交通規制・障害情報などの様々な情報提供がなされ、交通の円滑化や交通安全に寄与しているところです。しかしながら、自転車利用については、適切な情報提供が十分されているとはいえ、また、情報の集約がされていないことがあげられます。このようななか、当機構では、(公財)自転車駐車場整備センターより調査業務の委託を受け、多様化した利用者・自転車のニーズへの対応のひとつとして、利用者ニーズを把握するための自転車利用者アンケートを実施するとともに、自転車駐車場に関する情報提供のあり方についての検討を行いました。

2 自転車利用者を対象としたアンケート調査

自転車利用者の利用動向等を把握するため、アンケートリサーチ会社のモニタ会員のうち、東京23区、名古屋市、大阪市に居住し、普段から自転車を利用している者(12才以上の男女930人)を対象としてインターネットによるアンケート調査を、平成28年11月12日(土)に実施しました。実際に自転車利用者が利用している自転車駐車場、利用の場面や情報収集の方法、自転車利用者が求めている情報とそれらの情報を得られることが望まれる場所、どのような情報があると便利だと感じるのかなど、実際の利用者の目線に立った今後の情報提供のあり方を検討するための基礎資料となりうる設問を設定することとしました。回答者の属性については、年齢、職業は下記の円グラフが示すとおりです。また、本アンケート調査では、普段から自転車を利用している者に限定したことから、月数回以上自転車を利用している者よりの回答を得ることとしました。また、普段自転車を利用している自転車が、概ね一般車、シティサイクル(ママチャリなど)を利用している者からの回答が多く得られました。

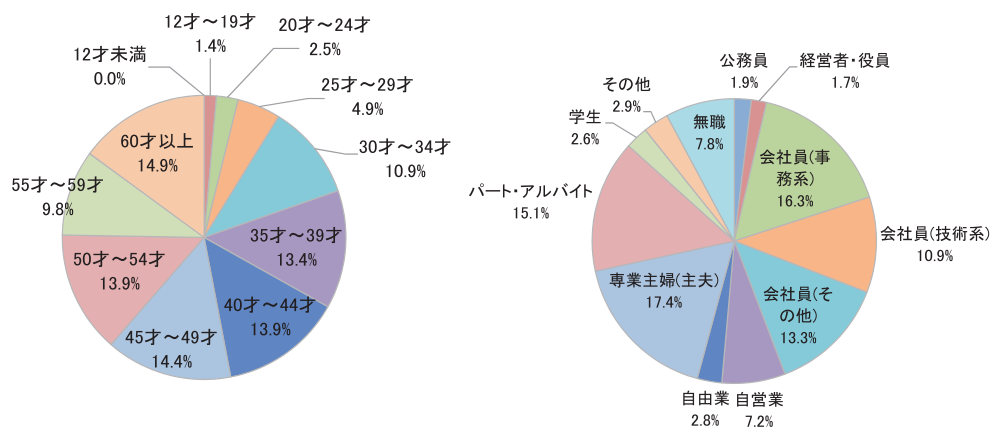


図 年齢と職業

3 アンケートの内容について

自転車利用者を対象として、下記15問のアンケート調査を行いました。なお、アンケート結果は、(公財)自転車駐車場整備センターのホームページのホームページ画面より、調査・研究にお進みいただき、「H28年度自転車利用者に対する情報提供のあり方に関する調査報告書(要約版)」を参照してください。

(参考) URL : <https://jitensha.jp/investigation/>

- 問1: 目的別に利用する自転車駐車場
- 問2: 路上駐輪した理由
- 問3: 自転車駐車場を利用するにあたり重要な項目とその程度
- 問4: 駅前の自転車駐車場の満足度
- 問5: 普段利用している自転車駐車場の知り方
- 問6: 自転車駐車場について調べようとするとき
- 問7: 自転車駐車場について知りたいと思う情報とその程度
- 問8: 知りたいと思う情報の調査実績と満足度
- 問9: 便利な情報の入手ツール
- 問10: 自転車駐車場の所在地(位置)はどのように知りたいか
- 問11: 満空情報はどのように知りたいか
- 問12: 現地(自転車駐車場)で入手できると便利な情報
- 問13: 快適な利用ができると思う施設やサービス
- 問14: 走りやすさマップに必要な情報
- 問15: 情報提供についての要望・意見(自由意見)

4 アンケート調査を踏まえた自転車利用者に対する情報提供に関する考察

本調査では、自転車の種類の多様化や、これに対応するための自転車駐車場整備とともに、それぞれのニーズに合わせた情報提供が必要であるとの考えから、利用者に対する情報提供の現状を調査し、利用者ニーズを把握するためのアンケート調査を実施しました。これらを踏まえ、自転車利用者に対する情報提供に関する考察を、以下に示します。

- 自転車駐車場に関する情報量が少ないことから、情報量の充実が求められている。この場合、取得が容易であるとともに、正確かつ鮮度の良い情報が望まれている。
- 自転車利用者においては、自転車駐車場の所在地(位置)情報が最も重要であると考えられていることから、ウェブ上の地図情報を活用する等、所在地(位置)を把握しやすい媒体での情報提供が求められている。

- 一時利用/定期利用に関しては、満空情報の提供が少ない。特に、利用を予定していた自転車駐車場が満車である場合には、近隣の自転車駐車場の所在地(位置)とともに、空車情報の提供が望まれている。定期利用については、空き情報だけではなく、満車の場合のキャンセル待ちの人数や順位といった情報の提供が望まれている。
- 自転車の種類の多様化に伴い、車体が大きい(電動アシスト付き自転車や幼児用座席付き自転車)、タイヤが太いなどを理由として、既存の自転車駐車場に駐車できない自転車がある。このため、利用可能な自転車の種類の情報提供がされれば、自転車利用者の利便性の向上に資するものと考えられる。
- 自転車駐車場に関連する情報提供は、設置者でもある地方公共団体からの発信が期待されているものの、利用者の期待に応えられていない現状が窺い知れた。一方で、地方公共団体のホームページでは、自転車駐車場に関する情報提供のページの階層は深い構成となっているうえ、利用者にとって入り口がわかりづらくなっている。このことから、階層を浅くすることや、トップページにリンクボタンやバナーを掲示するなど、利用者が見つけやすいところでの情報提供が求められている。また、検索エンジン(Yahoo!やGoogle)等のインターネット検索でも、ヒットしやすい工夫を取り入れることも必要である。
- スマートフォン利用者も増加していることから、アプリケーションで自転車駐車場に関する情報提供も行われている。しかしながら、多くの利用者に支持されている決定版のようなものは未だ開発されていない。このため、情報を蓄積しつつ、定期的な更新が行われるようなアプリケーションの開発も必要であると思われる。
- 情報の取得は、情報機器を用いたものだけではなく、現地となる自転車駐車場やその付近において、看板や標識といった、現地で見ることのできる(目に留まる)媒体での情報提供も望まれている。
- 利便性を高めるための情報提供としては、パンク等のトラブルへの備えとして、空気入れの配置状況や自転車店等の情報提供が望まれている。